

地域経済概況

No.636

2024年 4 月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【4月】

《景気判断》➡「このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」

総括判断は、前回判断を据え置いた

個別指標においては「企業の業況判断」について文章が追記された

(個人消費) ➡ 持ち直しに足踏みがみられる	(設備投資) ➡ 持ち直しの動きがみられる
(輸出) ➡ 持ち直しの動きに足踏みがみられる	(生産) ➡ 持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している
(企業収益) ➡ 総じてみれば改善している	(企業の業況判断) ➡ 改善している、ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる
(雇用情勢) ➡ 改善の動きがみられる	(消費者物価) ➡ 緩やかに上昇している

🔴…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 🟡…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【2月】

令和2年（2020年）＝100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	97.4 (97.9)	▲0.6	97.0 (97.5)	▲3.9
出荷 (速報値)	95.9 (96.2)	▲0.7	95.6 (95.9)	▲4.7
在庫 (速報値)	101.6 (101.6)	+0.6	102.7 (102.7)	▲1.7

(経済産業省調べ)

2月の季節調整済指数（前月比）は生産・出荷が低下、在庫は上昇
生産で上昇した業種…食料品・たばこ工業、パルプ・紙・紙加工品工業、窯業・土石製品工業ほか5業種
生産で低下した業種…自動車工業、化学工業（除. 無機・有機化学工業）、生産用機械工業ほか5業種
製造工業生産予測調査によると、3月は前月比+4.9%の上昇、4月は同+3.3%の上昇見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【3月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	303,216	▲19.9
軽自動車販売台数	148,228	▲23.6

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

3月の普通自動車等販売台数は前年同月比3か月連続の減少、軽自動車販売台数は4か月連続の減少

国内新車販売台数（軽自動車を含む）は451,444台（前年同月比▲21.1%）で3か月連続の減少

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【3月】

(店舗調整後)

主要5品目		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
	売上高総額	5,109	+9.9
	衣料品	1,425	+5.6
	身のまわり品	903	+20.8
	雑貨	1,124	+20.9
	家庭用品	178	+2.3
	食料品	1,197	+1.9

(日本百貨店協会調べ)

3月の売上高は25か月連続の増加

顧客別では、国内市場は前年同月比+3.7%で25か月連続の増加、インバウンドは同+148.4%で24か月連続の増加

地区別では、10都市が前年同月比+12.9%で30か月連続の増加、10都市以外が同+0.8%で3か月連続の増加

■スーパー等大型チェーン【3月】

(店舗調整後)

部門別		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
	総販売額	12,216	+9.3
	食料品	8,497	+11.7
	衣料品	675	▲3.3
	住関連品	2,196	+7.4
	サービス	28	+30.4
	その他	817	+2.2

(日本チェーンストア協会調べ)

総販売額は前年同月比で13か月連続の増加

食料品は節約志向からの買上点数減少に若干の改善傾向が見られ、農産品の相場高や店頭価格上昇もあり売上は伸びた

衣料品は気温の低下により春物商品の動きが鈍かったが、住関連の動きも良かった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【2月】

		戸数(戸)	前年同月比(%)
利用関係別	総戸数	59,162	▲8.2
	持家	16,307	▲11.2
	貸家	24,934	+1.0
	分譲住宅	17,327	▲17.7
	マンション	7,483	▲23.3
	一戸建	9,710	▲13.3

(国土交通省調べ)

2月の総戸数は9か月連続の減少

前年同月比は持家は27か月連続の減少、貸家は2か月連続の増加、分譲住宅は2か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは2か月連続の減少、一戸建住宅は16か月連続の減少

地域別総戸数は首都圏(前年同月比▲8.1%)、中部圏(同+1.7%)、近畿圏(同▲10.5%)、その他地域(同▲10.2%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【3月】

	受注額(百万円)	前年同月比(%)
受注総額	135,647	▲3.8
内需	49,249	▲0.2
外需	86,398	▲5.7

(日本工作機械工業会調べ)

3月の受注総額は15か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を38か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【3月】

	倒産件数	負債総額
	906件	1,422億円
前月比	+27.2%	+1.9%
前年同月比	+11.9%	▲3.5%

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は24か月連続で前年同月を上回った

負債総額は4か月ぶりに前年同月を下回った

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【4月】

《総括判断》「一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している」

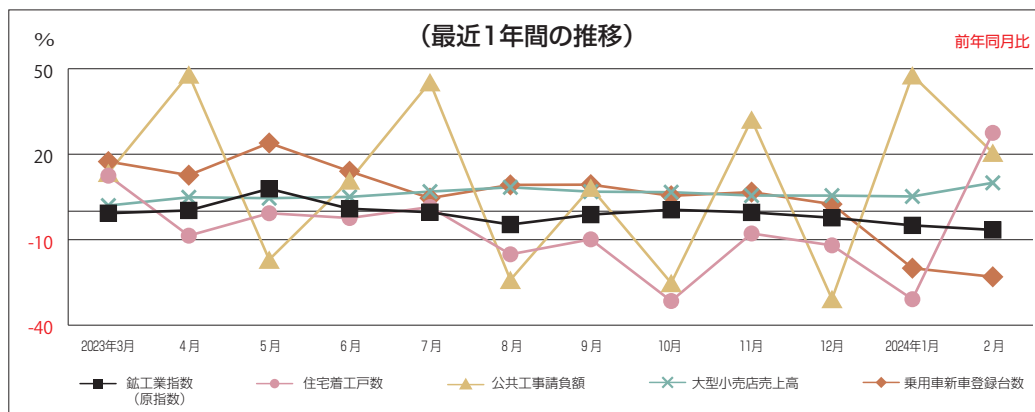
「総括判断」は6か月ぶりに前回判断を下方修正した

個別の判断は個人消費と生産については下方修正し、その他項目については前回判断を据え置いた

(設備投資) ➡ 増加している	(個人消費) ➡ 一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加している
(住宅投資) ➡ 弱めの動きとなっている	(公共投資) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) ➡ 弱めの動きとなっている	(雇用・所得) ➡ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 🔵…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



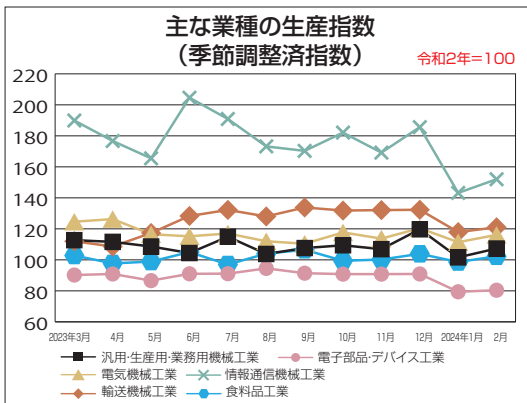
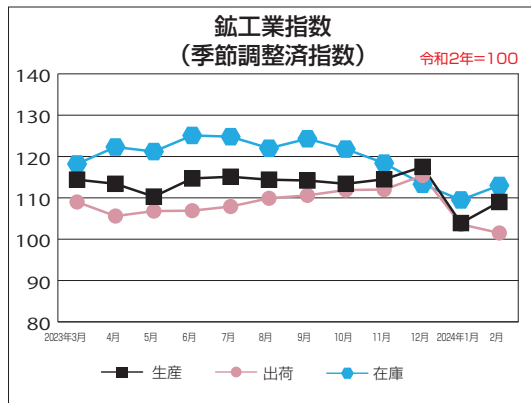
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数（速報）【2月】 令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比（%）	指数	前年同月比（%）
生産 （前月確報）	109.0 （103.9）	+4.9 （▲11.6）	108.2 （99.4）	▲6.6 （▲5.0）
出荷 （前月確報）	101.5 （103.6）	▲2.0 （▲10.2）	103.0 （97.4）	▲4.5 （0.0）
在庫 （前月確報）	113.0 （109.5）	+3.2 （▲3.4）	115.4 （114.6）	▲3.3 （▲6.3）

- 前月比（季節調整済指数）で、生産は2か月ぶりの上昇、出荷は2か月連続の低下、在庫は5か月ぶりの上昇
- 前年同月比（原指数）で、生産は4か月連続の低下、出荷は2か月ぶりの低下、在庫は3か月連続の低下
- 生産で上昇した業種…化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業、他9業種
- 生産で低下した業種…プラスチック製品工業、金属製品工業、非鉄金属工業、他1業種



（経済産業省、長野県企画振興部調べ）

建設業

■建築着工統計調査報告【2月】

		戸数（戸）	前年同月比（%）
総戸数		895	+27.5
利用関係別	持家	421	+6.9
	貸家	300	+45.6
	給与	0	皆減
	分譲	174	+72.3

（長野県建設部調べ）

- 住宅着工戸数全体は7か月ぶりに前年同月を上回った
- 利用関係別では、持家は7か月ぶりの増加、貸家は3か月ぶりの増加、分譲は3か月ぶりの増加

■公共工事動向【3月】

	件数（件）	請負金額（百万円）
国	29	9,802
独立行政法人	4	168
県	87	4,836
市町村	71	3,706
地方公社	0	0
その他	22	3,642
合計	213	22,156

（東日本建設業保証調べ）

- 3月の請負件数は前年同月比+20件、請負金額は同+36.4%であった。また、請負金額の発注者別では国（前年同月比+11.0%）、県（同+76.4%）、市町村（同+7.9%）で前年同月を上回り、独立行政法人等（同▲50.4%）で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数【3月】

	台数（台）	前年同月比（%）
普通自動車登録台数	5,712	▲19.7
軽自動車登録台数	4,200	▲23.0
全体（二輪車を除く）	9,912	▲21.1
自動車保有台数	1,886,204	+0.2

（北陸信越運輸局長野運輸支局調べ）

- 登録車は3か月連続で減少、軽自動車は4か月連続で減少、全体では3か月連続で減少
- 3月末時点における自動車保有台数内訳…登録車945,086台（前年同月比▲0.3%）、軽自動車903,190台（同+0.5%）、二輪車37,928台（同+2.2%）

■大型小売売上高【2月】

	売上高（百万円）		前年同月比（%）
	売上高		
総売上高	21,100		+10.0
内訳	食料品	18,331	+10.7
	衣料品	915	+4.8
	雑貨・その他	1,854	+5.4

（長野経済研究所調べ）

- 総売上高は29か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、来店客数の増加に加え販売価格の上昇もあり、前年同月を上回った
- 衣料品は、外出機会の増加などから前年同月を上回り、雑貨・その他は、身の回り品や化粧品が堅調で前年同月を上回った

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【2月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.35倍	▲0.02pt
全国	1.26倍	▲0.01pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【2月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	16,511人	▲10.6%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【2月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	7,674人	▲2.3%

(長野労働局調べ)

全国平均を0.09ポイント上回り、全国順位は15位と堅調な推移が続く

有効求人数(季節調整値)は45,172人と前月比+0.1%の増加、有効求職者数は33,348人と同+1.2%の増加

総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

前年同月比で増加した業種…卸売業・小売業、教育・学習支援業

前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、情報通信業など

全数のうち常用は4,622人(前年同月比▲2.4%)、パートは3,019人(同▲1.9%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【3月】

	倒産件数	負債総額
	8件	2,589百万円
前月比	+60.0%	+436.0%
前年同月比	0.0%	+192.2%

(東京商工リサーチ調べ)

地域別では北信が2件、東信が2件、中信が2件、南信が2件

業種別では飲食料品製造業が3件、農・林・漁・鉱業が1件、建設業が1件、パルプ・紙・紙加工品製造業が1件など

新型コロナウイルス関連倒産は1件

長野経済研究所から研修・セミナーのご案内

◆実務セミナー◆

セミナー名	講師	開催日時	開催場所	受講料(円・税込)
女性社員のスキルアップセミナー	ALive 川北 麻紀 氏	6月5日(水) 10:00~16:30	長野市 八十二別館	マネジメント会員 19,800 一般会員 23,100 会員以外 28,600
アンガーマネジメント&アサーションセミナー	アドット・コミュニケーション 戸田 久美 氏	6月18日(火) 10:00~16:30		
部下指導のためのコーチング	キャラウィット 上岡 実弥子 氏	6月25日(火) 10:00~16:30		

◆研修教室◆

研修名	開催日時	開催場所	受講料（円・税込）	
基礎から学ぶ決算書の見方	6月4日(火) 10:00～16:30	長野市 八十二別館	マネジメント会員 一般会員 会員以外	7,700 9,900 16,500
チームリーダー	6月11日(火) 10:00～16:30	松本市 松本商工会館		
基礎から学ぶ人事制度の設計と運用	6月12日(水) 10:00～16:30			
中堅社員	6月21日(金) 10:00～16:30			
営業の基本と実務	6月24日(月) 10:00～16:30	長野市 八十二別館		
ISO14001新任内部監査員養成 ～2日間コース～	6月19日(水)、 6月20日(木) 10:00～16:30		マネジメント会員 一般会員 会員以外	15,400 22,000 44,000

※受講料には、昼食代(半日研修は除く)、テキスト代を含みます

■申込方法：長野経済研究所ホームページ (<http://www.neri.or.jp>) よりお申し込みください

●お問合せ 一般財団法人 長野経済研究所 〒380-0936 長野市岡田178-13 八十二別館
TEL：026-224-0502/0501 FAX：026-224-6233 URL：<http://www.neri.or.jp>